

地域密着型金融の進捗状況について

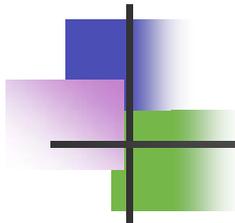
当金庫は地域社会の持続的発展に貢献するため、地域密着型金融に取り組んでおります。今般、平成23年度の進捗状況を取りまとめましたので、公表いたします。

資料目次

- 1．ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化（1-1、1-2）
- 2．事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底（2-1、2-2）

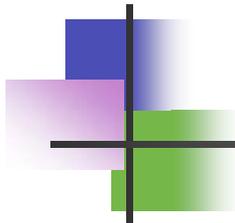


平成24年8月
大田原信用金庫



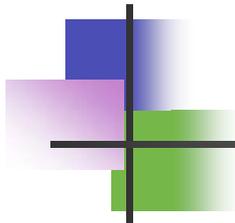
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化（1-1）

- **施策名称**：『経営支援部隊』による取引先企業の支援
- **取組動機**：取引先企業の抜本的な財務改善等を支援する全庫的な枠組みとして『経営支援部隊』を組織しています。
- **取組内容**：期初に支援対象企業の選定および取組方針の検討を行い、経営改善計画書を策定するとともに、経営改善へのアドバイスや提案等の支援を行い、3ヵ月毎にモニタリングやフォローを実施しています。また、栃木県中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携も図っています。
『経営支援部隊』は本部役職員4名、該当店の店長と担当者の2名で組織しており、平成23年度の支援先数は13先でした。
- **取組成果**：経営改善計画書の策定により支援先の経営課題を明確にし、改善指導からモニタリング・フォローまで一貫して取組んでおり、経営改善の実効性が高まっていると考えています。
- **評価等**：13の支援先のうち、平成23年度中に債務者区分がランクアップした先は1先に止まったものの、全先についてランクダウンが防止できたことは、活動の成果であったと評価しています。



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化（1-2）

- **施策名称**：『経営改善支援グループ』による取引先企業の支援
- **取組動機**：厳しい経済環境のなか、売上減少等により資金繰りがタイトになっている取引先企業に対するコンサルティング機能をより充実させることを目指し、平成22年4月に『経営改善支援グループ』を設置し、同年6月に専任の担当者を配置しました。
- **取組内容**：期初に支援先を選定し、担当者が中心となり定例的な訪問等を通して、経営改善指導や経営改善計画書の策定支援を行い、計画の進捗状況のフォローを実施しています。また、毎月、経営改善支援グループ会議を開催し、今後の方針を検討しています。なお、平成23年度の支援先は26先でした。
- **取組成果**：経営改善計画書の策定支援に取組み、26先中25先が計画書を策定しております。また、担当者の定例的な訪問や親身なアドバイス等により、支援先とのコミュニケーションの充実が図れています。
- **評価等**：26の支援先のうち、平成23年度中に1先が債務者区分のランクアップを果たしたほか、厳しい経済環境が続くなかで改善の兆しが見られた先も多く、一定の成果を得られたものと考えています。今後も、コンサルティング機能を十分に発揮し、積極的に取引先企業の経営改善支援に取り組んでまいります。

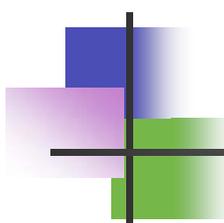


2 . 事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給方法の徹底（2-1）

- **施策名称**：事業価値に基づく融資の強化
- **取組動機**：地域の持続的発展に貢献するためには、事業価値（事業実態）に基づいた融資を強化することが、重要であると考えています。そこで、『目利き力（事業価値や将来性を見極める力）』を発揮して融資する商品を取扱っています。
- **取組内容**：法人代表者以外の個人保証と不動産担保を原則不要とした融資商品「商工いきいき特別保証制度」、「だいしんグッドアシストローン」、「しんきんスクラム2000」、「ご近所ローン」を積極的に活用しています。
- **取組成果**：平成23年度の取扱実績は下表のとおりです。 （単位：件、百万円）

商 品 名	平成23年度 取扱実績	
	件 数	金 額
商工いきいき特別保証制度	22	69
だいしんグッドアシストローン	15	87
しんきんスクラム2000	2	21
ご近所ローン	4	7

- **評価等**：景況悪化に伴い経済活動が縮小するなか、事業性資金の需要に可能な限り応えることができたと考えています。



2 . 事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給方法の徹底（2-2）

- **施策名称**：『目利き力』を強化する取組み
- **取組動機**：事業者の資金ニーズに適切に対応するためには、『目利き力（事業価値や将来性を見極める力）』が欠かせないことから、これを強化する人材育成に取り組んでいます。
- **取組内容**：外部講師による『目利き力』等の向上に資する庫内研修を実施するとともに、渉外担当者が上司とともに取引先を訪問して実地で指導を受ける方法を取り入れるなど、実践力を高める工夫をしています。
『目利き力』等の向上に資する外部研修に延べ11名を派遣しました。
『目利き力』等を検定する独自の庫内試験「町医者試験」を3回実施しました。
- **取組成果**：若手職員をはじめとして、多くの職員に成長の跡がみられます。
- **評価等**：外部講師による庫内研修は平成19年度から継続しており、その内容は年々レベルアップしています。今後は、研修で学んだことを営業現場で活用できるよう、指示・指導等を強化してまいります。
今後も継続して『目利き力』の養成に取組み、事業者の皆さまのお役に立てる職員を育成してまいります。